

介護保険料の納め忘れにご注意を!

皆さんに納めていただく保険料は、私たちの町の介護保険事業を運営するための大切な財源となります。介護が必要となったときに安心して介護サービスを利用できるように、保険料は必ず納めてください。なお、保険料を納めないでいると、介護サービスを利用するときに左記のような措置がとられますのでご注意ください。

●一年間滞納した場合

本来一割である自己負担が、いったん十割(全額)を自己負担し、あとで町から九割相当分の払い戻しを受ける支払方法に変わります。(償還払い)

●一年六か月間滞納した場合

右記の九割相当分の払い戻しを一時的に差し止めます。

さらに滞納が続く場合は、差し止めた額から滞納保険料が差し引かれます。

●一年以上滞納した場合

滞納期間に応じて、本来一割である自己負担が三割に引き上げられます。また、高額介護サービス費が受けられなくなります。

※納付が困難な人、外出が困難な人は、福祉課までご相談ください。

問合せ 福祉課

☎内線二二二一～二二三三

ピエンナーレ国際児童画展開催

日時 十二月四日(火)～七日(金) 九時～十六時

場所 図書館二階ホール

ピエンナーレ国際児童画展は、感受性にあふれ、文化の多様性を感じさせてくれる子どもたちの絵の展覧会です。今回は、大賞受賞作品を含めた五〇点の絵を展示します。

問合せ 総務課 ☎内線三二二三

「Looking a Fishbowl」(金魚鉢を覗いて) チョン・インギョン 八歳

大韓民国



「Town (街)」イジー・カフタン 九歳 チェコ共和国



※ピエンナーレとは、二年に一度という意味のイタリア語です。

葉山歌壇俳壇

◎特選 *共選

短歌

岡田 保子 選

◎揺れさうな夫の揺り椅子まなかひに七回忌なるを子らに告げたり 金井 比佐
 (評)夫が生前愛用の椅子が象徴的である。七回忌という具体的な言葉が読む人にも様々の事を思い起させる。直截的にさらりと詠っているところがよい。

短歌集を繙き見れば折々の亡夫とのありし日多く詠みぬし 石川サヨ子
 今日の日が始まる前のひとときを音しめやかに秋時雨降る 近藤 紮
 塞ぎ虫にひねもす伏して埒もなし目覚むれば外は既に夕暮れ 多羅 空竹
 舟底に身を横たえて空高く見知らぬ界へ消えてゆきたし 米田 宮子
 好きな歌一首の宿題にわが歌を選びくれし子は早や六年生 渡辺 裕子
 唐突に押し入れで寝てみたいなあ 男孫は叶いぬ夏の夜の宿 中川 弘子
 咲き盛る宮城野萩の川べりを敬老の日と気付けて通る 山本 ふで
 涼風と退院の子のほほえみにまたもそぞろに歌ごころ湧く 高梨 芳子
 十五夜のお供えととのえ待ちおれば唱歌のごとくまんまるの月 柳沢 千雪

俳句 沼田葉櫻子 選

俳句 浅井 一志 選

◎海見ゆる坂の一樹や帰り花 伊藤 落官
 (評)小春日和が続くと、桜・梨・山吹・つつじ等が時ならぬ花を咲かせることを「帰り花」と言う。海辺のよく見える所でそれを見つけて、まとまった一句である。「海見ゆる」がよい。

◎柿吊す老いていささか人嫌ひ 村上 権次
 (評)老いれば老いほど同世代の人が少くなってゆく、さびしいかぎりであるがこれも仕方がない。人とのつき合いも億劫になり、また人によっては頑固な人もいる。人嫌いもいささかで心の屈折を示す。

燃え尽きて募る淋しさ曼珠沙華 片山 久女
 (評)秋の彼岸のころに必ず咲くので「彼岸花」ともいう。真赤な花が群生すると異様な美しさがある。それだけに燃え尽きてしまふと野山の景色が淋しさを誘うのである。花の特徴がよく生かされている。

秋の蚊を打ち損じたり夫婦して 熊谷 晃門
 (評)蚊は夏の季語だが、夏過ぎてなお生きていると何となく気になるもの。しかし打ち損じてしまった。それも夫婦して、どこか諦観も感ずる。

燕去る巢より溢れし藁二本 熊谷 晃門
 *蔓引けば零余子音たて落ちにけり 近藤 紮
 秋暑し道標うすらぐ山の宿 熊本 京子
 藍に染む富士を望むや秋祭 石井富貴子
 ささぎの虫に音色の定まらず 堀江規弥子

*海見ゆる坂の一樹や帰り花 伊藤 落官
 *蔓引けば零余子音たて落ちにけり 近藤 紮
 悠揚と長崎あげは道すがら 高梨 民雄
 無月の戸萩の白きがゆるるのみ 安藤とみ子
 木斛の葉裏を照らす夕月夜 三崎 邦彦

締切は、掲載希望月の前々月末日必着。はがき1枚に、一人3首か3句まで(当季雑詠)、住所、氏名、電話番号を書いて、企画調整課「葉山歌壇俳壇係」まで